

項番	発言者	意見内容	区の考え方
1	澤委員	基本目標のうち「若い世代の妊娠、出産、子育ての支援」とある。高年齢で出産されている方も多くいる台東区の現状の中で、今回の人口ビジョン・総合戦略の策定の趣旨は認識しているが、この表現では限定的にとらえられかねないと思う。	<p>国が示すように、出生率を上昇させ、少子化を克服するためには、若い世代から希望どおりに妊娠、出産、子育てできる環境が必要であると考え、当初は、若い世代と表現を強調しておりましたが、委員のご意見にあるように、施策の対象を限定的にとらえられてしまう可能性があります。</p> <p>区としましては、子供を生み育てる方全てを対象に、施策を展開していきたいと考えておりますので、基本目標を「安心して子供を生み育てられる環境の整備」に改めています。</p>
2	前田委員	職場への女性の進出、ダイバーシティであったりと、女性がどんどん社会進出をして、大学卒業後、社会の中で立ち位置をきちんと決めるまでに相応の時間がかかることから考えると、ある程度高齢で出産するという流れは当然のことかなと思う。その際に、どう生める環境や生活しやすい環境を作るかを検討するほうが良いと思う。	
3	廣田委員	仕事を続けながら、子育てされる層へのサポートと、もっと若い方にも安心して生んでもらえる基盤づくりという2本にしたほうが、実際の施策内容とも合っていると思う。	
4	安藤委員	若い世代という言葉を少し変えて、例えば、安心して妊娠、出産、子育てのできる支援とか、そんなふうにすると全部網羅できると思う。	
5	長沼委員	総合戦略の施策や事業が、長期総合計画や行政計画と同じである。今回の総合戦略で目玉は何だとか、交付金をもらうためにこうするんだとか、長計と違うところを説明していただければ、わかるけれども、重なる部分がこれだけ多いと、極めてこの委員会が何を話し合っ、どういうことを重要項目としてやったのかというところが見えにくい。 交付金を取りにいくような目標でやっているのか、それとも国の考えに沿って、それに合った資料をつくっているのか。できれば交付金を取りにいくぐらいの形で、台東区をこの際いいチャンスで変えていただきたい。	<p>今回、長期総合計画とは別に、総合戦略を策定する意義を明確にするために、本案の冒頭の「策定にあたって」の記載に、人口減少、少子高齢化への対応、さらに、地方との共存共栄という、国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づいた、策定のポイントとなる項目と、策定の意義を改めて記載しております。</p> <p>また、人口ビジョンの4つの方向性、それを踏まえた総合戦略の基本目標、そして、どういう内容の取り組みを展開して、何を目指すかということ、P.46の図で示しております。</p> <p>委員のご意見にありました新しい取り組みについて、今後新たに始める事業で、総合戦略の分野に該当するものは、戦略の構成事業として位置付けております。また、事業の具体的な内容、どのように進めるかについては、KPIの数値目標という形で表記しております。</p>
6	懸田委員長	国から人口ビジョンを考えて総合戦略をつくりなさいと言われていた中で、長期総合計画や行政計画から外れたことは難しいと思うが、総合戦略の策定の意味をもっと書き込めば、従来と変わらない施策を踏襲していきただけけれども、それを台東区としてはどう考えているというのが明確になって、総合戦略をつくる意味が出てくるのではないかと考える。	
7	安藤委員	人口ビジョンの4つの方向性を押さえて、具体的な施策の体系が組まれていて、ここまではいいと思う。それ以降の具体的な事業のところ、行政計画を焼き直したのではなくて、これをベースとしつつも、そこに新しいことをつけ加えたらもっとよくなるというか、わかりやすくなると思う。	
8	前田委員	施策のところはいいと思う。施策の下のところ、具体的なものがぶら下がってくると、より具体的に全体像が見えてくると思う。	